広報 やすぎ 令和7年5月号

能義地区のイチオシ！

まちのタカラ

今なお残る豊かな田園の礎
～穴川のトンネルと原重兵衛～

▲トンネルの出口（下流）側。地面との高低差が高く、当時の工事が困難であったことは想像に難くありません。
◀貴布彌神社（赤崎町）前には、工事の経緯などが記された石碑が残っています。

能義地区を中心に広がる能義平野。ここが能義平野と呼ばれるようになったのは、明治22年（1889年）に施行された町村制によって能義村ができた後のことです。

この名称が使われる以前、赤崎町・月坂町周辺に広がる田園地帯は「赤崎田んぼ」と呼ばれていました。赤崎田んぼは約50ヘクタール（アルテピア約100館分）の面積があったといわれています。この地は、江戸時代末期までは水害が多く、特に赤崎町と月坂町の境は水はけが悪い沼地のような場所で、農作が困難でした。

そうした状況から、年々住民が減っていく中、村のため尽力した原重兵衛という人物がいました。重兵衛は弘化3年（1846年）、村が属する広瀬藩に嘆願し、田の排水工事を行いました。しかし、周囲より標高が低い土地であることから、水はけが悪いままでした。

そこで、重兵衛や村のまとめ役たちは嘉永元年（1848年）、水はけの悪い地域から吉田川まで、丘陵にトンネルを掘り、水路（穴川）を整備しました。トンネルは長さ約54mで高さと幅はそれぞれ約1.8m、トンネルからつながる水路は長さ約270mとなる大工事に。そのおかげで、その後水害はほとんどなく、あっても被害は軽く済むようになりました。このトンネル・水路は舗装等整備されながら残っており、今なお実り豊かなこの土地を支えています。

編集後記

▼4月より広報の担当へ異動してきました。さっそくカメラを触らせてもらったのですが、慣れないもので大変苦戦しております。先輩方のノウハウをしっかりと引き継いで、魅力的な広報紙を作れるよう、精進して参ります。これから取材でお伺いしていきますので、どうぞよろしくお願いします。（山）
▼安来をくまなく取材するという目標を掲げ、初めての編集作業・編集後記を作成してから約3年、たくさんの人にお世話になりました。拙い取材に対応いただき、ありがとうございました。広報やすぎの編集担当は卒業しますが、今後も制度情報の発信など、分かりやすい文章の作成を心がけていきます。（岩）

安来市の人口と世帯数　R7.3.31現在
人口合計／　34,881人
（男:16,811人　女:18,070人）
世帯数／14,254世帯

●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK

秘書広報課編集／安来市役所
〒692-8686島根県安来市安来町878-2　電話:23-3010 / FAX:23-3161
ホームページhttps://www.city.yasugi.shimane.jp
メール:hisho@city.yasugi.shimane.jp